

みやぎらしい家庭教育支援事業（１）みやぎらしい家庭教育支援基盤形成事業

令和8年度 大河原・仙台教育事務所管内 子育てサポーター養成講座

<5月27日（水）>

場所：仙台合同庁舎

参加者：32名

領域1 『家庭教育支援の理解』

講師 波多野 ゆか 氏



講義 家庭教育手帳

演習 はやねはやおき朝ごはん体操 について

子育てを取り巻く社会環境について最新のデータを基に解説していただきました。家庭教育支援がなぜ必要なのかお話をいただきました。

<6月10日（水）>

場所：大河原合同庁舎

参加者：32名

領域2 『親子の理解とかかわり方』

講師 相馬 亮 氏



講義 親のみちしるべ について

子供が描いた絵から、子供の絵の発達の仕組みについて解説していただきました。大人は子供に、どんな接し方をすればよいかを学びました。

<6月17日（水）>

場所：仙台合同庁舎

参加者：35名

領域3 『総合的な理解』

～地域活動、父親の教育参画～

講師 横田 智史 氏



閉講式において修了証を配付

現代の父親の育児参加について資料を提示していただきました。協力して子育てすることの大切さを、深く考える機会になりました。

受講生の皆さんの感想です。本当にありがとうございました。

○「聴く」ことについて改めて気付かされる話がたくさんありました。話を聞き終わる前に推測して話を進めてしまうことがあるので、反省しました。聴く力を意識して身に付けていきたいと感じました。

○時代の変化に伴い多様性を理解したうえで、一人一人の環境に合わせ寄り添い、支援していくことが必要だと感じました。

○絵の描き方という新しい視点から、子供の発達を理解できることが大変勉強になりました。大人の声掛け一つが子供の想像力や可能性を狭めてしまうということを改めて認識しました。

○子供の絵から見える発達段階と、保護者の声掛けについて、とても分かりやすく、驚きの多い研修内容でした。自分の周りの大人にも、この学びで得た気づきを広めたいと思いました。

○子供が生まれ、自分の父母、夫の父母とも、より仲良くなりました。子供を通して、地域の新たなつながりもできています。周りの子育て世代にも、優しく、伝えていきたいです。

○父親の育児参画は家庭の問題ではなく、少子化問題とも関わっていることを改めて考えさせられました。時代とともに父親も地域も一体となった家庭教育が推進されることを願っております。

地域で「子育て世代を応援したい!」「家庭教育支援について学びたい!」という方々にご参加いただきました。今後、子育て中の保護者に対して、気軽に相談に応じたり、助言したりする『地域ボランティア』としてご活躍されることを、ご期待申し上げます。